

せせらぎ

令和5年9月27日
世羅中学校

学校だより(9月号)

TEL (0847)22-2323

FAX (0847)22-2324

2学期がはじまりました！

9月1日(金)、暑い42日間の夏休みが終わり、体育館に全校生徒が集い「第2学期始業式」を挙行了しました。今年は、コロナウイルスが蔓延する4年前の夏に近い多くの人々の動きが活発な夏でしたが、生徒の皆さんはそれぞれの夏休みを有意義に過ごしてくれたようです。2学期がはじまりますが、ウィズコロナの社会生活・学校生活を送っていただけるよう、一人一人が改めて日々の感染対策の大切さを認識し実践していきましょう。そして、「まなびの発表会」や日々の授業等々、生徒の皆さんそれぞれが個性豊かに、自分なりのまなびを、自分なりの方法で深めることにより(学校教育目標)「自ら考え、判断し、行動できる生徒」をめざしましょう。



中国大会6位入賞 大西君

また、夏休み中に開催された中体連の各大会、並びに県吹奏楽コンクールの表彰と、本校から3名参加した「世羅町中学生海外研修」(8/18~8/24:ハワイ)の帰国報告も行われました。なお、「世羅町中学生海外研修」の詳しい報告会(プレゼンテーション)は、11月4日(土)に予定しています本校「まなびの発表会」で行います。

夏休み中の部活動入賞

- 第57回中国中学校陸上競技選手権大会 共通男子棒高跳 6位 大西 玲央 君
- 第64回広島県吹奏楽コンクール 金賞 世羅中学校吹奏楽部
- 令和5年度尾道市・世羅郡夏季総合体育大会
準優勝 バスケットボール女子・サッカー部・卓球男子団体・卓球女子団体

令和5年度世羅町中学生海外研修プログラム

- 1日目: 出国、ホノルル市内研修、ホストファミリーのお迎えにより各家庭へ
- 2日目: ホストファミリーとの研修
- 3日目: ホストファミリーとのお別れ
広島県人会との交流
- 4日目: Niu Valley Middle School訪問、
ホノルル市内研修
- 5日目: ダイヤモンドヘッド登山
ハワイ大学研修
- 6日目・7日目: 空路帰国へ

3日目;ホストファミリーとのお別れ



「まなびスペシャルⅡ」を開催しました！



8月4日（金）、ロシアによるウクライナ侵攻で、福山市に避難されているビクトリア・カトリッチさんをお迎えし、まなびスペシャルⅡ「ウクライナの現状から考える！」を開催しました。今回は、英語での質問にビクトリアさんから英語で答えていただく形式で特別授業をすすめました。生徒のみなさんは、この特別授業の問い「生きるって何だろう」「なぜ学ぶのか」を踏まえながら、即興で英語を使って再質問や自分の考えを述べていました。

ビクトリアさん、貴重なお話をありがとうございました。一日も早くウクライナに平和が訪れることをお祈りします。

ビクトリアさんへの質問（一部抜粋）

Q What should we learn for peace as junior high school students?

『私たち中学生が平和のために今学ぶべきことは何だと思いますか？』

Q If Japan can do anything for Ukraine, we'd like to support Ukraine.

Do we have anything we can do, even junior high school students?

『今日本がウクライナに支援できることがあるとしたら、私たちもしてみたいです。

私たち中学生にも何かできることはないでしょうか？』

4年ぶり 「せらゆめトライアル・ウィーク」実施！

8月21日（月）から5日間、校区内各事業所様のご協力により4年ぶりに「せらゆめトライアル・ウィーク」（職場体験学習）を実施しました。生徒の皆さんや保護者の方々のアンケートからも、社会的・職業的な自立に向けて、それぞれの生徒の皆さんが社会の中で生きていくために不可欠な能力を育むことができた貴重な1週間となりました。

（写真：世羅中央病院）



あまり人前で何かをするというのは苦手だったけど、子供たちの前で絵本を2冊も読めて自分でも成長したと思った。
（生徒アンケート）

仕事の面白さを知ることによって、「次はこんなことをしてみよう」と、自分で積極的に考えることができるようになりました。

（保護者アンケート）

7月末、3年生にとっては最後の中体連大会・吹奏楽コンクール。それぞれがこれまでのコロナ禍での中学校生活に思いを馳せながら、精一杯頑張ってくれました。

大会やコンクールも終わり一区切り。と、思いきや8月上旬は、3年生のプロジェクト活動や、「まなびの発表会」の自主的な発表をする練習と、多くの生徒の皆さんが登校してくれました。自分が好きなことや得意とすることに、自ら進んで取り組んでいる皆さんの姿は、大変生き生きと輝いた姿で、元氣と勇気をもらいました。
～ひとこと日記～

